

平成28年度第3回（第30回） 3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会

日時：平成28年6月11日 PM6：30～

場所：桜が丘市民会館

出席者：別途（衛生組合作成議事録による）

1. 序

標題の通り平成28年度第3回会議を開催した。

A. 施設整備の部

1. 参考資料

本日の打ち合わせには以下資料を使用した。

(1) 第2回会議議事録（板書き／タイプアウト）

(2) 第3回次第（H28.6.11）

○ (3) (仮称)3市共同資源物処理施設平面図による比較図

○ (4) 計量差のシミュレーション

○ (5) 小平市の組成分析調査結果について（回答）

↑ (6) (仮称)3市共同資源物処理施設設置に伴う生活環境影響調査（現行調査）報告書

→ (7) 懸案事項確認表

(8) プラウド地区意見書

2. 議事進行

2.1. アンケートのホームページへのUP

UPする方向で調整中（内容検討中）

2.2. プラウド地区意見書の代読。（プラウド地区）

(1) 全文を持ち帰り衛生組合で別途回答する。（三市）

(2) 不快な思いをさせた発言はお詫び申し上げます。（小平部長）

(3) 健康リスク回避に関して → 回避できるとの判断で進められております。

（他市の施設／環境を考慮して）（松本）

(4) 多額の税金の消費 → 現状の施設稼働が長期に不可で、三市で共同する事により
これが解決できる。（松本）

(5) 回答必要事項

光橋様 リスト作成をお願いする。衛生組合に提出する。

（このリストに基づき今後議論する）を進める事とする。

(6) 森口さんからの意見

回答を求める事項を箇条書きまとめ、衛生組合に提出する。

（そもそも論の
カテゴリーに入る）

(この文章に基づき今後議論する)

(7) 三市応分負担ではない。(松本)

2.3. 小平市の組成分析調査結果 (回答)

A. 1. (5)項の資料による。

同資料について組合より7項目質問の説明がされた。(片山)

(1) No. 5. (山崎)

1回のみでの測定結果では信頼性に問題ないか?

└(平成24年度) 昨年の分析結果を提示して戴けないか?

(平成24年度と同規模ではなかった → 提出する) (小平)

(2) No. 6 (－1) (山崎)

● 19.5 → 19.2 (訂正する) → 山崎

組成分析：小平実施

結果活用：衛生組合で活用した。 } 片山

● 31g/1日/人：硬/軟プラ排出量と(各市調査)計算

この数字を基本として算出するとほぼ妥当と考える。(片山)

(3) サンプルングの実施について

日時を明確にして戴けると数字の妥当性が明らかになる。(坂本)

説得力のある説明が出来る。

(4) No. 6 (－1)

発砲スチロール：基本的に容器包装プラのカテゴリーに入る。(片山)

キャップ類： // (片山)

(ペットボトル)

(5) No. 6 (－2)

おおよその予測値との判断と考えて戴きたい。(片山)

(6) No. 7 (2)

不適格品の範囲の特定(判断)が困難 → 50%との整合性とのからみ(山崎)

→ (チューブ数が多い)

(7) No. 8

プラ容器の増加対応の現状については稼働時間延長の方向で検討中。(小平)

(現状において増加の傾向にある)

搬入量	24年	25年	26年
	485 t	519 t	555 t

(9) 懸案事項確認表の「Item 22」は終了。

(10) “リサイクル率”（50%）目標とは。（森口）
排出中の容器でリサイクル出来る率を言います。（ゴミ総量に対して）
現在東大和市では分析していないので明確な数字は不明（松本）

(11) 50%の説明出来る図を小平市で作成。（次週回答）

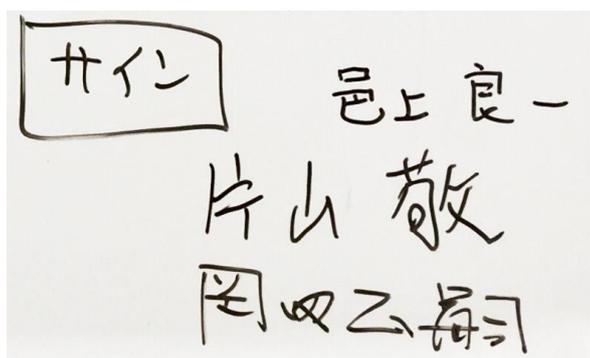
(12) 次回議論

- ・ 高さ説明
- ・ 重量測定
- ・ 建物の説明
- ・ 懸案事項説明(回答可能 Item)
- ・

次回会議開催

7月9日（PM6：30～）

桜ヶ丘市民センター



サイン 邑上良一
片山敬
岡田乙海